

# 「公共施設の使用料等に関する調査」の概要

## 1 公共施設の使用料等に関する調査の目的

本市では、「県都『あきた』改革プラン（第8次行革大綱）」に基づき行政改革に取り組んでおり、その一環として、受益と負担の適正化の観点から、公共施設の使用料等の見直しを検討しているところである。

今回の取り組みは、管理運営に要するコストに見合った見直しや、同種・同類施設の料金格差是正を図るために行うものであり、市民の意見を把握するため調査を実施したものである。

## 2 調査の実施状況

### (1) 実施期間

令和5年9月25日（月）から同年10月10日（火）までの16日間

### (2) 調査対象者

市民100人会会員（会員数100人）

### (3) 実施方法

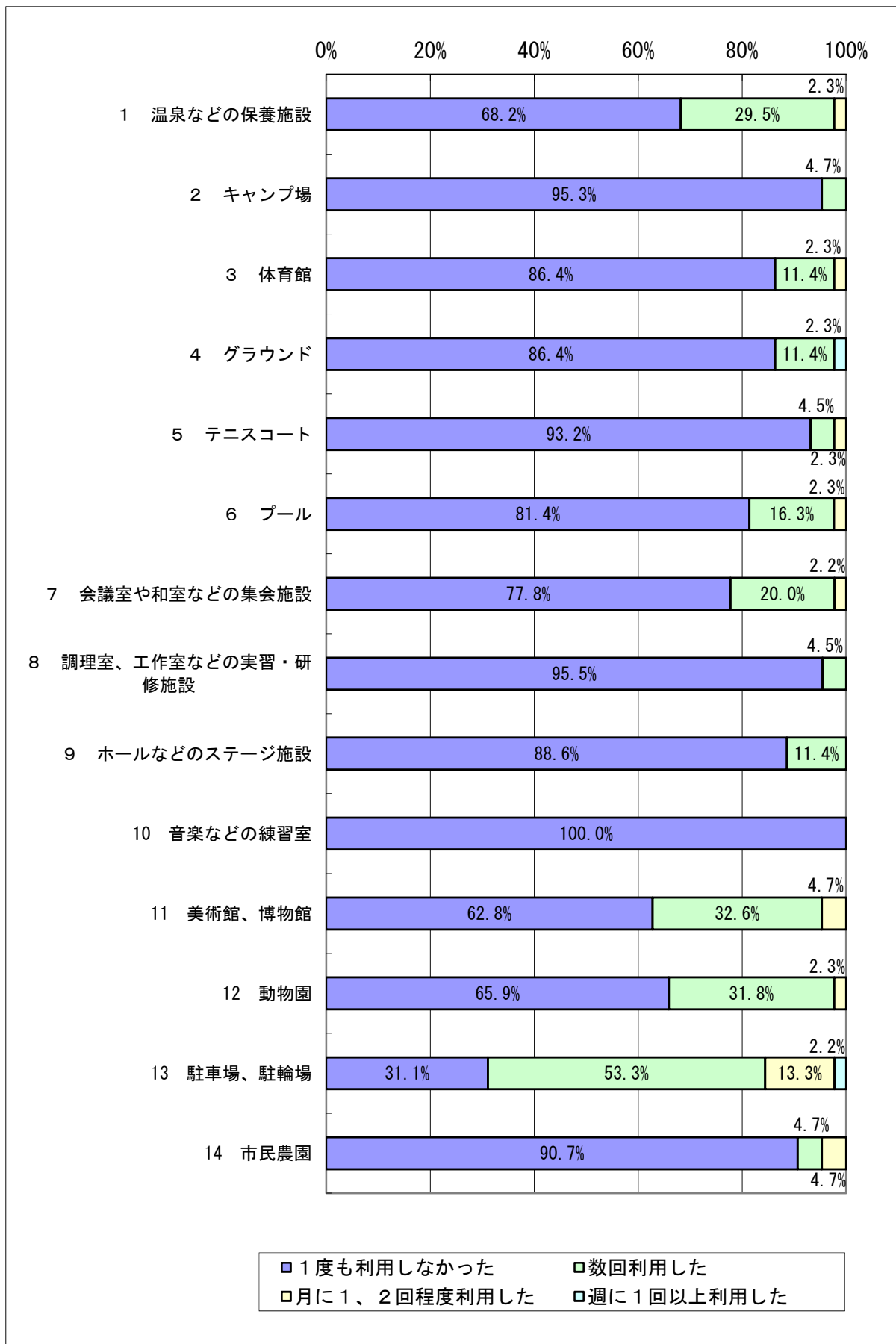
無記名によるアンケート形式および自由記述形式による調査  
（郵送およびメールにて実施）

### (4) 有効回答者数

45人（回答率 45.0%）

Q1 施設の利用頻度について

あなたは、この1年間に以下の秋田市の公共施設を利用しましたか。次の1～14の各施設について、あなたの利用頻度に近いものに○をつけてください。



## 施設の利用頻度について

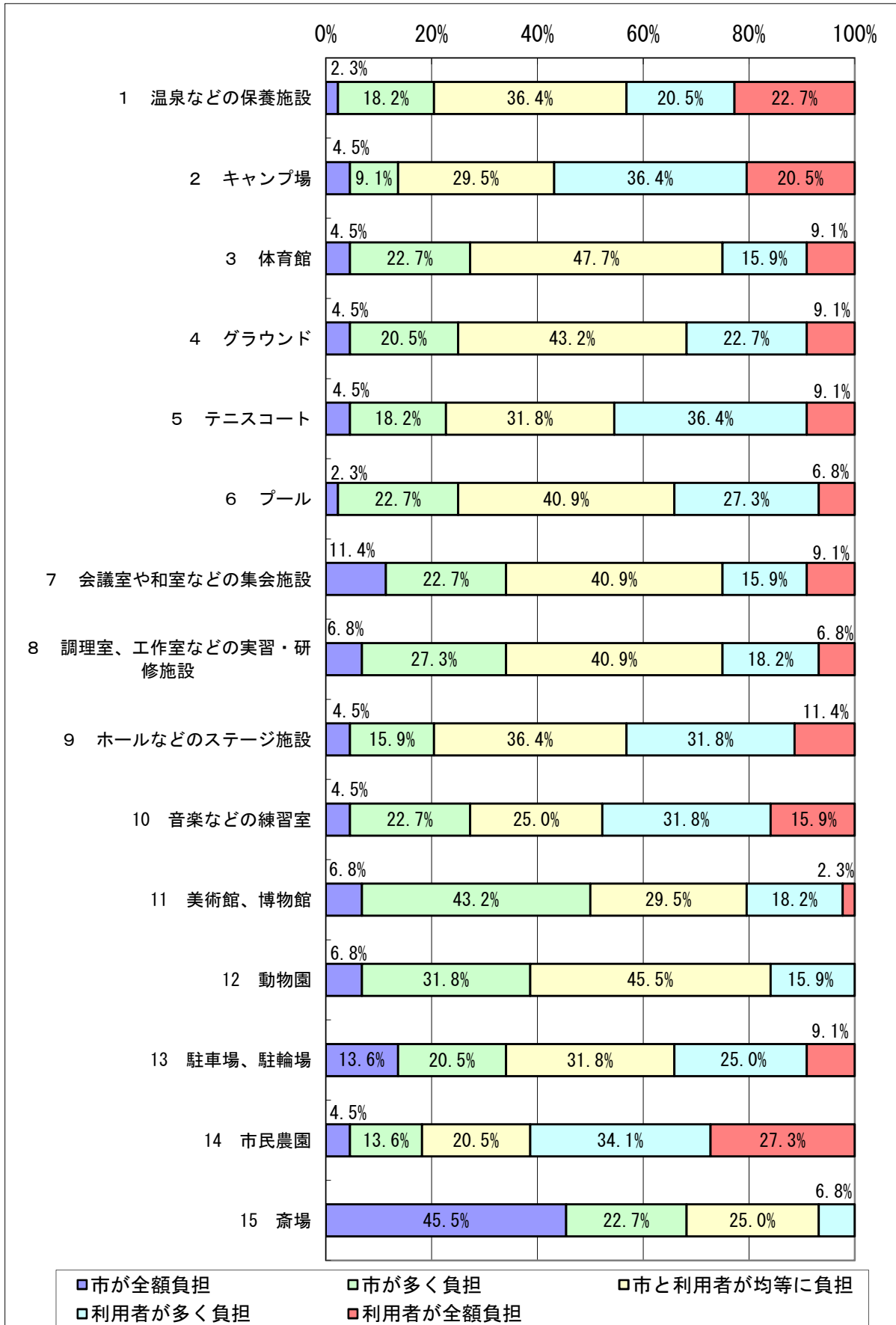
利用頻度が最も高い施設は「駐車場、駐輪場」で「数回利用した」が53.3%、「月に1、2回程度利用した」が13.3%、「週に1回以上利用した」が2.2%となっており、利用した者の合計は68.9%で、14施設中で唯一50%を超えている。

次いで利用頻度が高かった施設としては、「美術館、博物館」が37.3%、「動物園」が34.1%、「温泉などの保養施設」が31.8%となっている。

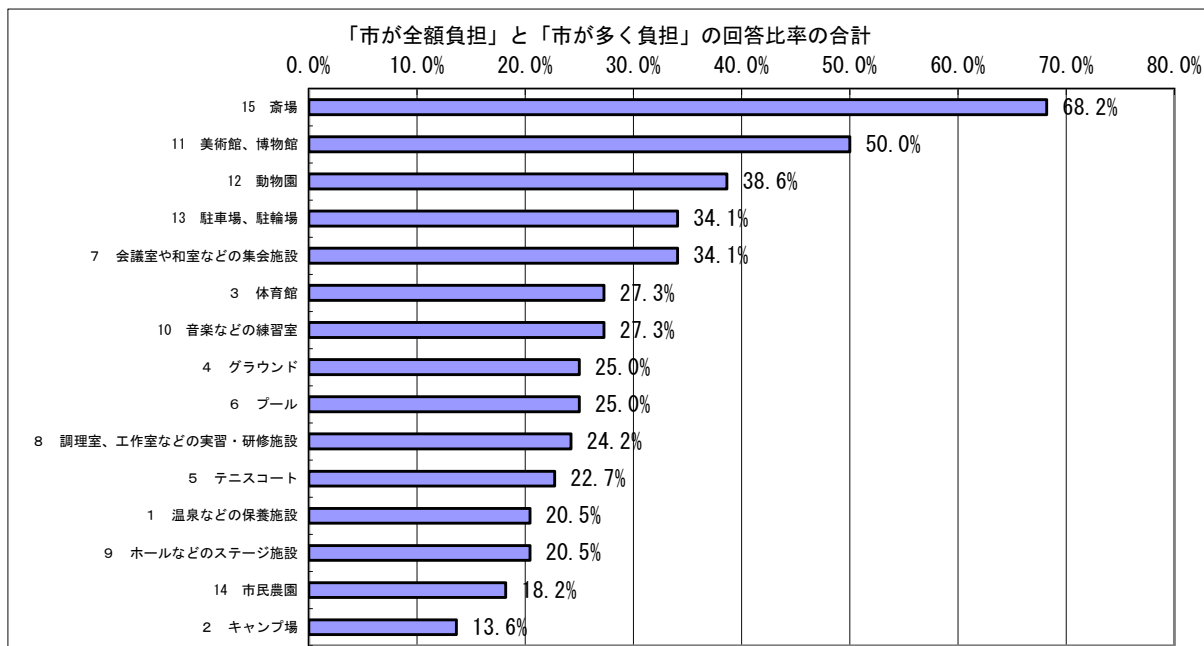
一方、利用頻度が低かった施設としては、順に、「音楽などの練習室」「調理室、工作室などの実習・研修施設」「キャンプ場」「テニスコート」「市民農園」となっており、いずれも「一度も利用しなかった」が9割を超えるなど、実際の利用者が一部に限定されている施設であることが伺える。

Q2 施設の維持管理費用について

施設の維持管理費用については、市と利用者が施設の性格や利用内容によりそれぞれ応分の負担をする必要がありますが、次の1～15の各施設について、維持管理費用等の負担のあり方についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。



## 施設の維持管理費用について



### ○ 「市が全額負担」と「市が多く負担」の回答比率の合計が高い施設（上記グラフ）

- 15 斎場（68.2%）
- 11 美術館、博物館（50.0%）
- 12 動物園（38.6%）
- 13 駐車場、駐輪場（34.1%）
- 7 会議室や和室などの集会施設（34.1%）

### ○ 「市と利用者が均等に負担」の回答比率の高い施設

- 3 体育館（47.7%）
- 12 動物園（45.5%）
- 4 グラウンド（43.2%）
- 6 プール（40.9%）
- 7 会議室や和室などの集会施設（40.9%）
- 8 調理室、工作室などの実習・研修施設（40.9%）

### ○ 「利用者が全額負担」と「利用者が多く負担」の回答比率の合計が高い施設

- 14 市民農園（61.4%）
- 2 キャンプ場（56.8%）
- 10 音楽などの練習室（47.7%）

「市が全額負担」または「市が多く負担」の回答比率が最も高い施設は「斎場」であり、68.2%が市において維持管理すべきという考えを持っている結果となった。

また、その他の「美術館、博物館」「動物園」「駐車場、駐輪場」は、Q1における回答でも利用頻度が高く、多くの市民が利用し、かつ主に市が維持管理すべきとされた施設である。

「市と利用者が均等に負担」の回答比率が高い施設は、「体育館」「動物園」「グラウンド」「プール」などとなっている。また、「市と利用者が均等に負担」の回答比率が、15施設のうち6割となる9施設において最も多い状況であることから、各公共施設の維持管理費用は市のみが負担するのではなく、利用者も負担するべきだ、という考えを持っていることが伺える。

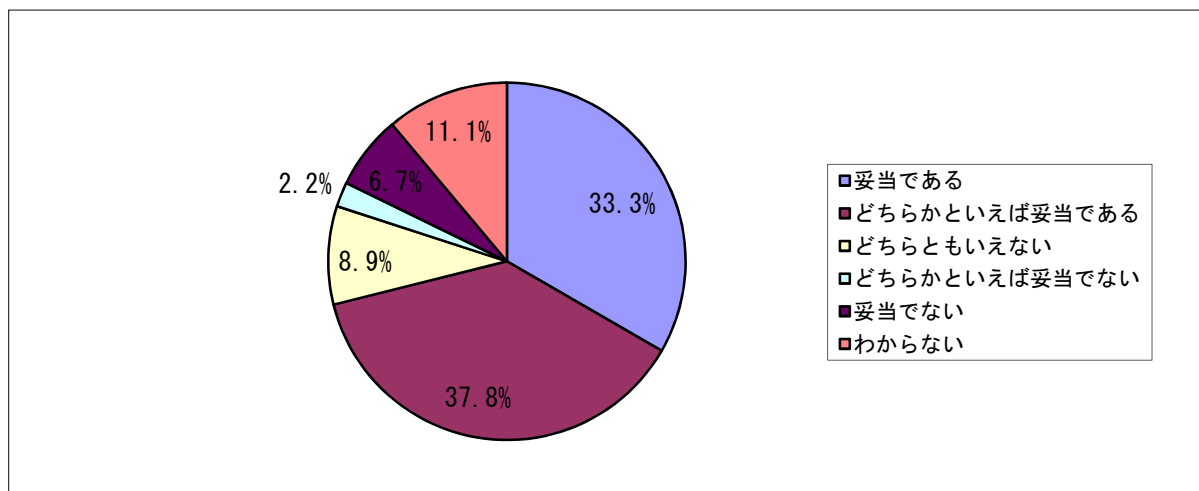
「利用者が多く負担」と「利用者が全額負担」の回答比率が高い施設は、「市民農園」「キャンプ場」「音楽などの練習室」「温泉などの保養施設」などである。

特に、「市民農園」「温泉などの保養施設」「キャンプ場」は、「利用者が全額負担」の回答比率が20%を超えており、利用者負担により維持管理されるべきとの考えが高い傾向にある。

さらに、斎場を除くその他の施設全体の傾向として、市と利用者の負担について、どちらかが「全額負担」の回答比率より、どちらかが「多く負担」または「均等に負担」の回答比率が高く、市と利用者双方が適切に維持管理費用を負担すべきという考えが多いことが伺える。

### Q3 施設使用料の負担の割合について

秋田市では、提供するサービスの内容に応じて利用者が負担する割合を、下図のように、0%、50%、100%に区分していますが、あなたはこの区分についてどう考えますか。いずれかに○をつけてください。



施設使用料の受益者負担割合を、0%、50%、100%の3区分としていることに対し、「妥当である」「どちらかといえば妥当である」の合計は71.1%であり、7割を超えるかたが妥当であると回答している。

妥当とする主な理由として、「多くの市民が利用する施設や公益性がある施設については、無料が望ましく、個人の好みによって使用される施設については、個人負担するのは当然と考える」「今後税収が減少する中で固定の利用者が利用するサービスは利用者の負担を増やすことが必要」「あまり細かく区分する必要はない」などがあつた。

一方、「妥当でない」「どちらかといえば妥当でない」の合計は8.9%となっており、その理由の主なものとして、「主にスポーツ施設等は100%区分なのに市民サービスセンター等は50%区分になっている。同じように100%区分でも良い」「受益者負担割合が3パターンだけだと分け方として柔軟性に欠けるように感じる。25%、75%といった区分を増やした方がよいのではないか」などがあつた。

このほか、「どちらともいえない」の回答が8.9%あり、その主な理由は「趣味等で個人が使用するところに関しては、個人の負担が多いのいいが、スポーツ関連に利用する施設に関しては、今後を考え、利用者負担を下げた方がいいと思う」「利用者の人数や回数などを調査し、使用回数が低いものはなくしたり、違う利用方法を考えることはできないか」などがあつた。

「妥当である」の主な理由

- ・平等性があり、適切である。
- ・公益性が高い施設と、どちらかと言えば私益性が高い施設の、使用料の負担は自ずと区分すべき。
- ・多くの市民が利用する施設や公益性がある施設については、無料が望ましく、個人の好みによって使用される施設については、個人負担するのは当然と考える。
- ・各施設で使用する理由と頻度が違うため。
- ・あまり細かく区分する必要はない。
- ・私益的なサービスは個人差があり、個人負担があっても利用されると思う。

「どちらかといえば妥当である」の主な理由

- ・私益的・選択的サービスは魅力的な街づくりの要素になると思うので、使用料においても利用しやすい料金設定が望ましいと考える。
- ・公益性サービスと私益的サービスの分け方をもっと細かくすべきではないか。
- ・0、50、100%の3つの区分だけではなく、公益性の強弱、必需性、市場性等を考えて、それぞれの中間の区分を新たに設け、0、25、50、75、100%の5つの区分にしても良いのでは。
- ・今後税収が減少する中で固定の利用者が利用するサービスは利用者の負担を増やすことが必要。
- ・受益者負担割合が100%はそもそも民間に任せ市が関与すべきではない。運営経費は民間以上。市民農園は受益者負担割合100%が妥当。全般的にコスト意識の希薄な市では経費負担が大きく、結局納税者負担増となる。職員削減がより重要。
- ・利用することによって費用はかかるもの。動物園は市の負担を多くしてもいいと思う。
- ・公益性・選択的サービスについて、受益者負担割合を50%だけではなく、25%、50%、75%等細分化してはどうか。公益性の高いサービスについては25%、公益性の低いと思われる市民農園などは75%等。

「どちらともいえない」の主な理由

- ・物価高であり、利用者の負担はない方がよい。
- ・趣味等で個人が使用するところに関しては、個人の負担が多い方がいいと思うが、スポーツ関連に利用する施設に関しては、今後を考え、利用者負担を下げた方がいいと思う。スポーツを始めようと思った人が（子どもも大人も）利用料の負担が大きいと使用する機会を無くしてしまうのではないかと思う。
- ・利用者の人数や回数などを調査し、使用回数が低いものはなくしたり、違う利用方法を考えることはできないか。（利用料の削減、他への還元になるのではないか）

「どちらかといえば妥当でない」の主な理由

- ・3パターンだと分け方として柔軟性に欠けるように感じる。行政側にとっては手間だと思うが、25%、75%といった区分を増やした方がよいのではないか。

「妥当でない」の主な理由

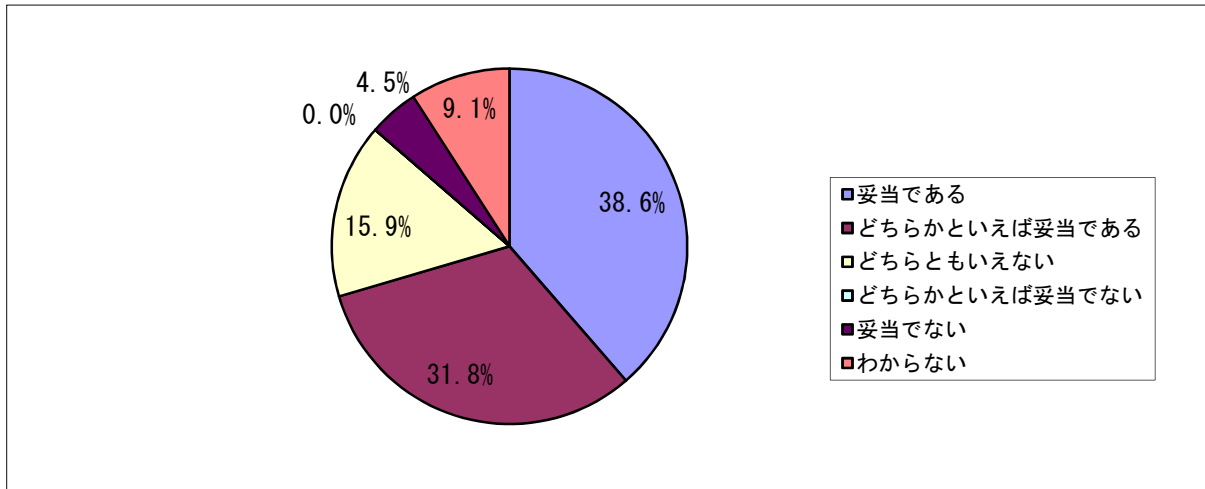
- ・主にスポーツ施設等は100%区分なのに市民サービスセンター等は50%区分になっている。同じように100%区分でも良いと思う。
- ・0%も必要だが、25%のものを増やすべき。
- ・0%や100%という使用料はありえない。利用者が何割かの負担を負った方が使用方法などにも責任感が生じると思う。

「わからない」の主な理由

- ・利用する機会が少ないので、よくわからない。
- ・民間で提供しているサービスを市で行う必要があるのかわからない。
- ・サービスや人件費によっては負担する割合が変わると思う。

#### Q4 改定料金について

秋田市では、現行の施設使用料がコスト算定した料金（管理原価×受益者負担割合）と比べて大幅に差がある場合は料金を改定すべきと考えますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。いずれかに○をつけてください。



現行料金とコスト算定した料金（管理原価×受益者負担割合）に大幅な乖離がある場合に料金改定すべきという考えについて、「妥当である」が38.6%、「どちらかといえば妥当である」が31.8%であり、両方をあわせた回答の割合は70.4%と、7割が料金を改定することに肯定的であった。

一方、「どちらかといえば妥当でない」が0.0%、「妥当でない」が4.5%で、両方を合わせても4.5%と肯定的な意見と比較して大幅に少ない状況であった。

肯定的な理由の主なものは、「昨今の物価高を考えれば、コストが増え、またその分料金が上がるのは妥当だと思う」「コストが上昇することは容易に想像できるため、サービスの維持のために改定した方が良い」「大幅に差がある場合は改定すべき」「受益と負担の適正化という考え方は理解できる」などがあつた。

また、どちらかといえば妥当であるの回答の中に、「高齢化、少子化の問題をかかえる秋田市にとっては、市民の健康維持が喫緊の課題であることから、健康維持に資する施設については利用しやすい料金設定が望ましい」「野球場、体育館等は、特に現行料金と算定料金の差が大きく、改定後料金はもっと高く設定してもいいのでは」といった意見があつた。

否定的な理由の主なものは、「市の施設であり、市が負担すべきものである」「施設によって電気代や維持費が違うので改定すべきではない」などがあつた。

なお、「どちらともいえない」「わからない」の理由として、「コストが変動しているので改定は必要だと思うが、必需性が高いものについては大きく改定はすべきでない」「施設によって違うのではと思う。動物園など子どもが多く使用するものは全額市負担でも良いと思う」「管理原価の実際の金額を知らせた上で意見を集約すべきだと思う」「施設を建てた時点で、維持運営費はわかっていると思うが、その時に比べて、どう変化したのか、判断する資料が見当たらない」などが挙げられている。



「妥当である」の主な理由

- ・ 昨今の物価高を考えれば、コストが増え、またその分料金が上がるのは妥当だと思う。
- ・ 民間の施設使用料と競合するところは民間施設が値上げする中で改定しないということは税金にたよることとなる。
- ・ 大幅に差がある場合は改定すべき。
- ・ いろいろとコストが上がっている。
- ・ わかりやすく良いと思う。
- ・ 受益と負担の適正化という考え方は理解できる。

「どちらかといえば妥当である」の主な理由

- ・ コストが上昇することは容易に想像できるため、サービスの維持のために改定した方が良い。
- ・ 学生のスポーツ技術向上のためにも学割設定があればよいと思う。
- ・ 高齢化、少子化の問題をかかえる秋田市にとっては、市民の健康維持が喫緊の課題（明日への活力と財政支出の抑制）であることから、健康維持に資する施設については利用しやすい料金設定が望ましいと考える。
- ・ 維持費を確保しないとメンテナンスもできなくなると思う。
- ・ 野球場、体育館等は、特に現行料金と算定料金の差が大きく、改定後料金はもっと高く設定してもいいのではないかと。
- ・ 屋外施設においては他の屋内施設と比較しても多少割合を緩和しても良いのではないかと。時にキャンプ場等。

「どちらともいえない」の主な理由

- ・ コストが変動しているので改定は必要だと思うが、必需性が高いものについては大きく改定はすべきでないとする。
- ・ 管理原価の実際の金額を知らせた上で意見を集約すべきだと思う。
- ・ 施設によって違うのではと思う。動物園など子どもが多く使用するものは全額市負担でも良いと思う。
- ・ 施設の維持には税金を使用しており、使用料を多くすることにより軽減を図りたいことは理解できるが、その施設の有用性も考慮が必要と考える。
- ・ 改定すべき施設と、低廉で利用しやすい施設とメリハリをつけた考え方が必要。

「妥当でない」の主な理由

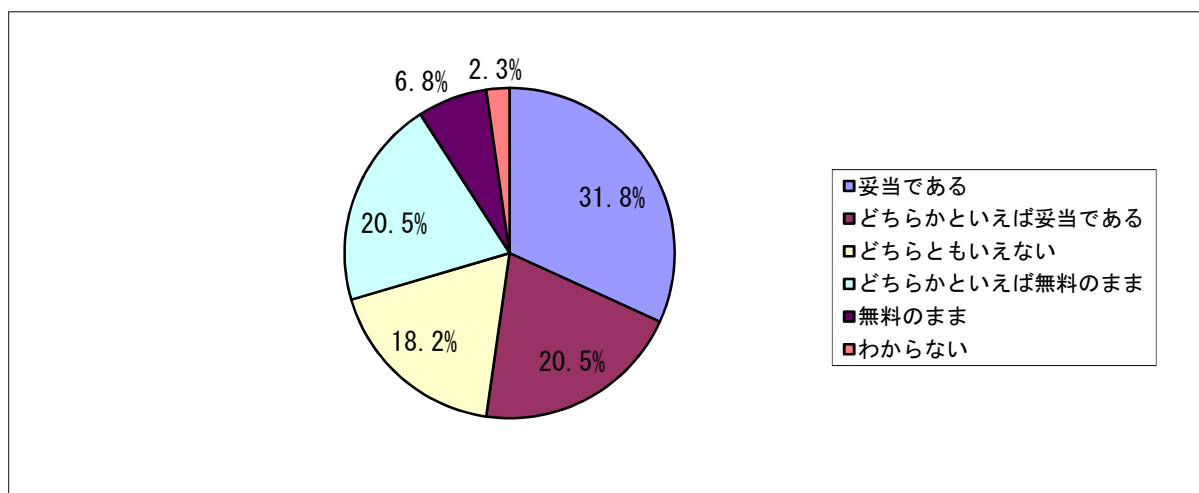
- ・ 市の施設であり、市が負担すべきものである。
- ・ 施設によって電気代や維持費が違うので改定すべきではない。

「わからない」の主な理由

- ・ 利用率が低い施設では、維持運営費が不足すると思うが、その費用が見えないのでわからない。
- ・ 施設を建てた時点で、維持運営費はわかっているだろうと思う。その時に比べて、どう変化したのか、判断する資料が見当たらない。

### Q5 無料施設の有料化について

受益と負担の立場から、現在無料で使用できる施設が有料となることもあります。このことについてどう思いますか。いずれかに○をつけてください。



改定により無料施設が有料となることについて、「妥当である」が31.8%、「どちらかといえば妥当である」が20.5%で、両方をあわせた回答の割合は52.3%となった。一方、「どちらかといえば無料のまま」が20.5%、「無料のまま」が6.8%で、両方を合わせた回答は27.3%となった。

肯定的な理由の主なものは、「人件費、維持費を考えるとやむを得ないと思う」「税収で賄えないのであれば有料化は致し方ない。公共施設よりもインフラ整備や少子化対策など他に税を使ってほしい」「施設がなくなるよりは良い」「利用者も有料となることで効率的に利用するようになるため」などがあつた。

否定的な理由の主なものは、「今まで無料できたので継続すべき」「公共性が高く、市民にとって必要不可欠な施設については現行どおり対応願いたい」「いろいろな物が値上がりしている状態なのでせめて施設の使用料は無料のままにしてほしい」などがあつた。

なお、「どちらともいえない」の理由として、「利用者負担は望ましいが、利用者が離れたら本末転倒と考える」「有料化する施設による」「無料の方が良いに決まっているが予算的にも厳しいのであれば有料になってもやむを得ないと思う」などがあつた。

「妥当である」の主な理由

- ・負担するところは負担してその先の住みやすい秋田市へと繋げてほしい。
- ・安価に利用できるのであれば有料でも良いと思う。
- ・利用者も有料となることで効率的に利用するようになるため。
- ・妥当だが、市側のコスト意識はより重要。
- ・税込で賄えないのであれば有料化は致し方ない。公共施設よりもインフラ整備や少子化対策など他に税を使ってほしい。
- ・少額でも負担は必要と思う。
- ・人件費維持費を考えるとやむを得ないと思う。

「どちらかといえば妥当である」の主な理由

- ・光熱費、維持費、物価高などあるので、一部の施設が有料になるのはやむを得ない。
- ・人口減に伴う税込の減を考えれば仕方ないことと思う。
- ・コストがかかるのであれば仕方ない。
- ・最初から高くはしないでほしい。状況をみて決めてほしい。
- ・施設がなくなるよりは良い。
- ・無料の施設がここでは示されていないので回答しにくいですが、例えば図書館を例に挙げると、利用しているというよりは1日過ごしているという方々も多くみられ、駐車料金を1時間以降は有料にする等してもいいのではないか。（学生等の自転車はもちろん無料）

「どちらともいえない」の主な理由

- ・有料化する施設による。
- ・無料の方が良いに決まっているが予算的にも厳しいのであれば有料になってもやむを得ないと思う。
- ・施設維持にはコストがかかり、利用者にも相当分の負担は必要を考える。
- ・利用者負担は望ましいが、利用者が離れたら本末転倒と考える。

「どちらかといえば無料のまま」の主な理由

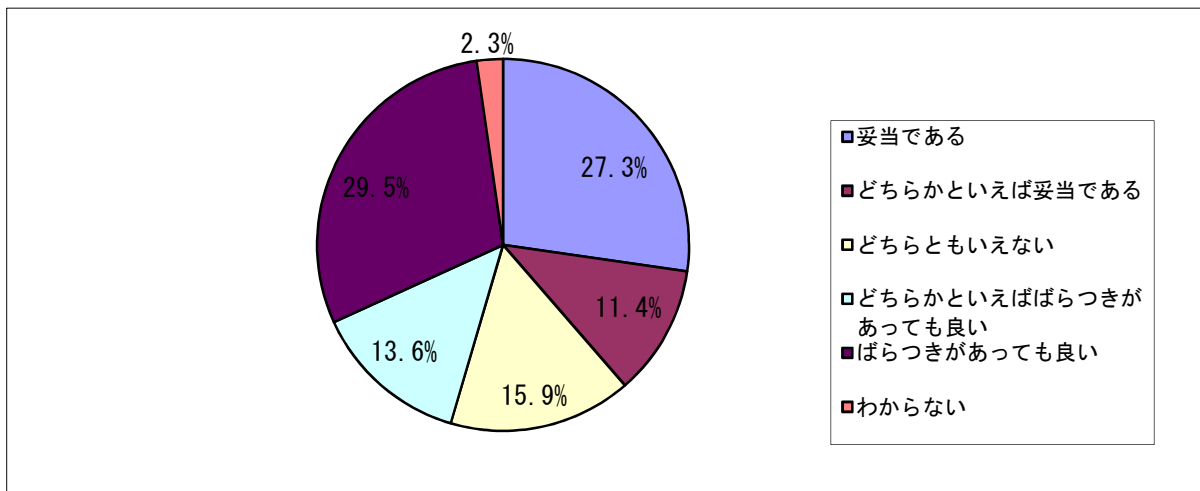
- ・公共性が高く、市民にとって必要不可欠な施設については現行どおり対応願いたい。
- ・無料の背景を要検討。
- ・いろいろな物が値上がりしている状態なのでせめて施設の使用料は無料のままにしてほしい。
- ・無料で利用できることは市民にとって嬉しいことだと思うが、無料だから利用が増えるかとは別の問題だと思う。どうしても利用したい人は、有料になっても利用すると思う。
- ・有料化にするための市民への理解を得るための説明、根拠が難しいと思われる。

「無料のまま」の主な理由

- ・今まで無料できたので継続すべき。
- ・具体的にどのような施設を有料にしようとしているのかわからないため判断ができない。
- ・秋田市民がこれまで無料で使用している施設であれば、無料を継続すべき。

Q6 同種・同類施設の料金設定について

テニスコートや体育館、運動広場など、同種・同類施設において料金に格差がある施設については均一な料金とすべきと考えておりますが、このことについてどう思いますか。いずれかに○をつけてください。



テニスコートや体育館、運動広場など同種・同類施設を均一料金とする、いわゆるグルーピングをすることについて、「妥当である」が27.3%、「どちらかといえば妥当である」が11.4%のあわせて38.7%に対し、「ばらつきがあっても良い」が29.5%、「どちらかといえばばらつきがあっても良い」が13.6%で、あわせて43.1%となった。そのほか「どちらともいえない」15.9%という結果であった。

その主な理由として、肯定的な意見では、「均一の方がわかりやすく良い」「秋田市内で地域差を設ける必要はないし、同一の料金であれば、利用する側も利用しやすいと思う」「同じ施設なら料金は同一であるべき」「希望する施設が使用できない場合、料金に差があると予算の関係で計画を立てにくく、希望以外の施設の使用がしにくい場合が出てくるのではないか」などがあつた。

なお、「基本的には同種・同類の料金は均一と考えるが、施設や装備品の老朽具合、アクセスの利便性、利用頻度などを考慮した料金設定があっても良いと考える」という理由もあつた。

否定的な回答では、「同種・同類でも交通の利便性、収容人数、施設維持費などが異なるので、ばらつきがあっても良い」「同種・同類の施設でも立地やアクセス等で利用状況に差があると思う。人気のある場所は高く、そうでないところは安くすることで、利用率の平均化が図れる」「施設の利便性、設備等を考慮して料金を設定しても良いのでは」などがあつた。

また、「どちらともいえない」の主なものに、「施設の機能、使用年数・時間等に差がなければ均一で良いと思う」「維持費によると思う」という意見などがあつた。

「妥当である」の主な理由

- ・同じ施設なら料金は同一であるべき。
- ・均一の方がわかりやすく良い。
- ・秋田市内で地域差を設ける必要はないし、同一の料金であれば、利用する側も利用しやすいと思う。
- ・維持管理費に違いはあれども、料金に格差をつけると事務的な処理が面倒になり、その分人件費等のコストが増すとされる。

「どちらかといえば妥当である」の主な理由

- ・基本的には同種・同類の料金は均一と考えるが、施設や装備品の老朽具合、アクセスの利便性、利用頻度などを考慮した料金設定があっても良いと考える。
- ・希望する施設が使用できない場合、料金に差があると予算の関係で計画を立てにくく、希望以外の施設の使用がしにくい場合が出てくるのではないかと思う。
- ・施設の料金は均一であるべきと考える。

「どちらともいえない」の主な理由

- ・施設の機能、使用年数・時間等に差がなければ均一で良い。
- ・維持費によると思う。
- ・使用される人数にも違いがあり、競技種別により割高感をいただく人もいると思う。

「どちらかといえばばらつきがあっても良い」の主な理由

- ・同種・同類の施設でも立地やアクセス等で利用状況に差があると思う。人気のある場所は高く、そうでないところは安くすることで、利用率の平均化が図れるのではないか。
- ・施設の利便性、設備等を考慮して料金を設定しても良いのでは。
- ・スポーツの種類により、施設の傷み方や利用者数が違う。
- ・室内・外の施設で料金分けてはどうか。

「ばらつきがあっても良い」の主な理由

- ・同種・同類でも交通の利便性、収容人数、施設維持費などが異なるので、ばらつきがあっても良い。
- ・同種、同類の施設であるが、算定料金に大幅な差があり必ずしも一律でなければならないとは思わない。
- ・利用する頻度などにもよると思うのでばらつきがあっても致し方ないと考える。
- ・テニスコートなどは、使用目的が限定され、そもそも競技人口も少なく高料金が妥当。いずれにせよ管理費の圧縮は必須。

## Q7 公共施設の使用料に関するご意見等について

公共施設の使用料に関して、ご意見などがありましたらご記入ください。

### 主な意見

#### 使用料の改定について

- ・使用料の設定に関しては、民間施設や他市町村の施設などと比較して、秋田市民が納得して活用できるような料金としていただきたい。また、利用に際しても公平性が重要であり、利用者が多くなる時期などは抽選とするなど、みんなが納得して利用できるようにしていただきたい。
- ・多くの市民から親しまれている施設については、相応な負担は必要と思われるが過度な改定はすべではなく、納得が得られる改定を望む。
- ・高校の同窓会の役員をしているが、会議を開く場合、部屋の使用料と駐車料金が無料だと、料金の心配をせずに来ることができるとてもありがたい。役員は皆ボランティアでやっているのので、公共施設はなるべく料金がかからないか安くすむようにしてもらいたい。
- ・使用料のコストパフォーマンスがよければ使用率も高くなると思うので、施設の充実、清潔感、予約のしやすさ等の向上とともに使用料を考えていただければ有難い。
- ・使用料の端数は少ない方が、払う側も施設側も煩わしくないのでは。
- ・税負担が増えないようにしてほしい。
- ・公共施設を設立・運営する経費・使用料を民間に委託した場合のコスパを十二分に検討、検証願いたい。運営能力のない3セクの失敗例が多数。市の管理能力には疑問符ぬぐえず。
- ・美術館、スポーツ施設、図書館など人によって利用する施設が異なるため、あまり利用しない施設についてはよく分からない。コスト削減や利用料の負担が増えるのはやむをえないと思う
- ・公共施設の使用料が維持管理に必要なのは分かる。もう少し詳しく使用料の目的が分かれば良い。
- ・アンケートをしなくても利用状況を知るため、市の職員も各施設を利用すべき。
- ・各種団体・協会・施設の利用者の声も把握すべき。
- ・受益と負担の適正化の見直しは必要。物価高の昨今、税を自分で納めるものとしては、個人の娯楽性を求める方々には自分で負担をしていただきたいと思う。ニーズに合わせた変化は必要。

#### 個別施設について

- ・私は主に、美術館と博物館を多く利用するので、入場料は無料にして欲しい。そうすることで入場者が増え、知的財産ともいえる美術品を多くの県民の皆さんに見てもらえると思う。まずはより多くの人々に美術館にきてもらい、芸術に親しんでもらいたい。企画展の時には、入場料を徴収したら良いと考える。
- ・土崎の市民グラウンドについて、電気料金が高騰している昨今において、使用後の照明のつけっぱなし、駐車等、マナーの悪さが目立つので、値上げした方がよい。
- ・利用者が趣味で使用する施設については、利用者負担が多くても致し方ないと思うが、斎場の使用や動物園の子供の料金等については、市が多く負担していただけたら良いと思う。
- ・駅前の駐車場は是非、料金見直しをするべき。車社会であり、駐車場がなければ駅前に行かない。加えて料金が高くては益々遠のくと思う。活性化のためにも検討願う。
- ・市営駐車場は、商店の駐車料金の補助を、30分単位とし、補助券はプール制とし、後日使用可能とする利用にしてはどうか。
- ・市民農園の利用の多い所はもう少し値上げして、格差があっても良いと思う。

#### 公共施設のあり方について

- ・使用料の見直しも大事だが、利用頻度の低い施設の廃止などスリム化も必要ではないか。
- ・なるべく無料にしてくれたらもっと使用したいという方々がふえると思う。
- ・基本的には公共施設などは無料が原則かと思う。
- ・今後、人口減少による施設利用者減や社会情勢の変化によるコスト増などにより、施設の使用料は上昇すると推測する。この時、市と利用者の負担については適宜議論し、両者にとってベストな金額としてほしい。また、使用が少なかったりコストに合わなかったりする施設は、廃止や民間への委託も随時検討すべきである。
- ・利用者が増えるように市の努力も必要。
- ・子育て家庭に負担がないよう、子どもが多く利用する施設はできるだけ公費でまかなってほしい。
- ・コミセンは無料で使用しやすく助かっている。あとはあまり利用する機会がないのでよくわからないが、無料であつたり安い使用料だと何かと利用しやすいと思う。予算的に厳しい部分もあるかと思うが、頑張ってもらいたい。
- ・公共施設のコストは、将来的に上がり続けると思う。コスト節減のみに捕らわれず利用者の増加を図るべき同一施設を集約し、施設の利便性充実を検討願う。
- ・運動広場をもう少し増やした方が良いと思う。
- ・テニスコートが多いと感じる。